

グローバルな視野と 高度な専門的能力を！

学長 野地澄晴 (のじすみはれ)



新生の皆様、ご入学おめでとうございます。この度はあまたの大学の中から、徳島大学を選択していただき、誠にありがとうございます。心から歓迎いたします。徳島大学は本年度から大きく変わります。「変わらないと存続できない」ことについて、皆様とも情報を共有し、ご理解をいただきたいと思っております。そこで、世

界の変化と現在の状況を簡単に述べ、徳島大学の現状について、私の考えを述べることにより、歓迎の言葉とさせていただきます。

地球規模の問題について

日本の社会は比較的平穏ではありますが、世界は非常に危機的な状況にあり、日本への影響はこれ

からますます大きくなると考えられます。地球規模で状況を見ると、大きな問題が4つあります。①地球温暖化、②人口増加に伴う食料とエネルギーの問題、③国際的テロの問題、④感染症対策です。

もちろん他にも大きな問題がありますが、この4つを選びました。パリで開催されたCOP21での議論から得られる合意については、「人類の健全な生存にとって、決定的に重要な合意」となると言われており、温室効果ガス排出量が今のままとしても、あと30年足らずで平均気温の上昇が2度を超える可能性があると報道されています。「地球の気温が平均で4度上昇すれば、ほぼ3分の2の植物と、3分の1の哺乳類が生息地を失う。」(Huffington Post)との予想もあります。この問題は、当然②の食料とエネルギーの問題とも関連しており、徳島大学としてもこれらの問題に取組む必要があります。多くの研究者が直接・間接に

関連のテーマで研究をおこなっていますが、さらに強化しなければなりません。様々な国で難民に関する問題がありますが、解決策については慎重に検討が必要です。一方、エボラウイルスなどによる感染症は直接的な影響が日本においてはまだまだ少ないのですが、地球

温暖化によるマラリアの流行などにも今後、注意する必要があります。

徳島大学の役割について

一方、国内の大きな問題を上げると、①少子高齢化、②国の財政赤字、③国際化であると考えています。これらの問題をどのように解決するか？が大学においても問われています。文部科学省は、厳しい財政状況の中で、各国立大学の機能強化の方向性に応じた取組をきめ細かく支援するため、予算上、三つの重点支援の枠組みを新設し、平成28年度からスタートすることを決定しています。徳島大学は、「重点支援①の国立大学」として、地域に貢献する取組とともに、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で世界・全国的な教育研究を推進する取組を中核とする」ことを選択しました。国内の大きな問題の解決策の一つが地方創生です。大都会に人口が集中し、地方では、すでにその存続すら危ぶまれている自治体もあります。この問題を解決するには、ノーベル物理学賞を受賞された卒業生の中村修二先生のように、世界的な研究を継続し、青色LEDの発明のような世界

的規模のイノベーションをおこななければなりません。その事により、国際競争に打ち克つ魅力ある産業が興き、若者が地方に定着することになります。そのためには、グローバルな視野と高度な専門的能力を持ち、自由に発想し画期的な発明・発見ができる人材の育成が不可欠です。本学はそれを徳島で実現するために、重要な役割を担っています。

新生に期待すること

皆様には、学術的な問題、地球規模の問題や地域の課題を解決する人材として成長されることを期待しています。世界は刻々と変化していますので、古い概念に留まることは遅れること、ひいては世界で生き残っていけないことを意味します。そのためには、「変わらなくてはなりません」。大学も例外ではなく、社会の情勢に合わせて、変化しなくては生き残ることができないのです。新生の皆様も今後、学内だけでなく、世界や地域に眼を向け、知識を蓄積し、知恵を学んで、変化に対応して人間として飛躍的に成長することを期待しています。

副学長の新生歓迎の言葉

予測が困難な時代

大学でどの様に学ぶのか

副学長理事(教育担当) 高石喜久 (たかいし よしひさ)



思考回路を洗濯し「0から1」を 刷新する人になろう

皆さん、徳島大学へのご入学誠にありがとうございます。心からお祝い申し上げます。私たち教職員一同は、皆さんが充実した学生生活を過ごし、皆さんの夢をかなえていただくために精一杯のお手伝いをいたします。

未来の予測が困難な時代

2歳の子供が、おもちゃのスマホを持ち人差し指を動かしています。多くの入学生の皆さんが生まれた頃には、携帯電話が世の中に普及してしましました。しかし、今や、スマホが当たり前、お互いの会話は少なく、連絡は隣にいてもスマホでの時代になりました。旧式の携帯電話はガラケイと言われ、そ

のうち世界遺産になりそうです。グローバル化、少子高齢化、情報化、産業構造の流動化など、社会の急激な変化の中、今は未来の予測が困難な時代だと言われています。オックスフォード大学から出された論文「あと10年で「消える職業」「なくなる仕事」が話題になっています。なぜ仕事がなくなるのでしょうか。近年の人工知能の発達により、10年後にある仕事はロボットに取って代わられるということです。また、別の報道によれば、米国の総雇用者の仕事のうち、47%が、10〜20年後には機械に取って代わられるという予測もあります。

大学でどの様に学ぶのか

自分の分野は10年後に「消える職業」リストに入っていないから大丈夫だ。そう考える人もいますでしょう。しかし、その仕事内容は大きく変わります。では、大学でどの様に学べば良いのでしょうか。大学教育では、主体的に考え、答えのない問題に挑み、解決し、生涯学び続ける能力を持つ学生の育成が求められています。これまでの受動的学習者から能動的学習者(考え学ぶ人)に変身することを意味します。徳島大学では皆さんが

「考え学ぶ人」へ変身する第一歩として、入学直後に「SIH道場」を開設しています。この道場では主体的に考え、その考えをまとめる「文章力」、「協働力」、「コミュニケーション力」が鍛えられ、専門分野の学修に大いに役立ちます。皆さんが「考え学ぶ人」へ変身できれば、予測困難な時代であつても間違いなくトップランナーとなります。

考える、何を。

「考える人」どうしたら好いのでしょうか。それは問題を見つけ、問題に挑むことです。ではどのようにして問題を見つければよいのでしょうか。3歳児の頃に帰るのが最短だと思います。3歳児はあらゆることになぜ、どうしてと分からないことは直ぐ聞きます。しかし、歳をとるとともに常識の中に埋もれた生き方(何となしに分かった気になる、時間がなく考えない、試験に出ないの必要な、生きていくのに必要なので考えない)になります。今の世の中すぐに正解を求め、分からなければスマホで検索すればすぐある程度の答えは出てきます。1+1=2が正解であれば常識だと頭が固定化し疑いませ

で、それ以外は正答としてくれません、如何に短い時間で常識的に答えるかが重要となります。このような常識を捨て、思考回路を洗濯し、頭を3歳児に戻し、世の中の疑問を探しましょう。

なぜ、どうして(0を1にする人)

私も日ごろ思っているのですが、あの憎らしい蚊は、どうしてあんな小さな体で、ガソリンも電気もないのにドローンより素早く飛べるのでしょうか。科学技術が進歩しているといわれていますが、いつ「蚊」が人の手で再現できるのでしょうか。書き出すと切りがありません。木はなぜ歩かないのだろうか。ミカンとリンゴとマンゴーがなる木は作れないのだろうか。私は皆さんが1を10にする(物・あることを改良する)人でなく、0から1(新しい発見電話、LEDなど)を生み出す人になっていただきたいと思っています。それには3歳児のような童心になり考える必要があると思います。「なぜ、どうして」をいつも考えましょう。大学の卒業研究、大学院での研究で皆さんの抱いた疑問が解けるかもしれません。私たちと一緒に徳島大学で学び、夢をかなえましょう。



総合科学部
社会創生学科 3年
青山 晃奈
(あおやま あきな)

新入生の皆さん、ご入学本当におめでとうございます。私が入学したところはサークルや留学など、やってみたいことで頭がいっぱいでした。

大学では学問を深く掘り下げて学ぶことができ、そのための専門的知識を持つ先生がたくさんいらっしゃいます。先生方のご専門はとても幅が広く、興味を持った様々な分野について、深い知識を得ることが出来ます。気になる学問があれば、まずはその講義を取ってみてください。講義後に先生とその内容の話をすると、きっと話が花が咲くはずですよ。

また大学側は私たちにボランティア活動や留学などの校外で活動できる情報もたくさん掲示し与えてくれます。

在学中に皆さんに心に留めて置いてほしいことは、ひとつだけ。受け身の人間にならないことです。少しでも気になることがあれば、ぐいぐい挑戦してみてください！



医学部
保健学科 3年
岐田 梨沙
(さぬりさ)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。受験勉強、お疲れ様でした。

それぞれ期待や不安など抱いている思いは様々だと思いますが、ぜひ多くの人と話してみてください。友達だけではなく、先輩や先生方とも仲良くなることをおすすめします。

さて、大学のイメージとはどういふものですか？どんなことをしたいと思っていますか？

大学では自由な時間が増えるため、アルバイトを始める人、部活動やサークルに励む人、その他の活動に参加している人などがいます。また、留学をする人もいます。個人的には、大人に近づいた今、家事や親孝行を試みるのも良いと思います。大学では、自分で考え行動に移すことが大切です。大学生生活は長いようであつという間に過ぎてしまうので、ぜひさまざまなことに挑戦して、悔いのないよう充実した大学生活を送ってください。



歯学部
口腔保健学科 3年
北村 美渚
(きたむら みお)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。長い受験勉強お疲れ様でした。

いよいよ大学生活が始まりますね。皆さんそれぞれ、期待や不安など様々な気持ちを抱えていることでしょうか。

大学では、自分自身で考え行動していくことが大切です。勉強、サークル、アルバイト、ボランティアなど、興味のあることに積極的に参加してみてください。同級生だけでなく、先生、先輩後輩、地域の人々と出会い、刺激を受けることで、人間的に成長できると思います。また、県外の方も多いため、思いますが、徳島という土地をよく味わっていたらと思います。

皆さんが素晴らしい大学生活を送れることを心より願っております。



薬学部 薬学科 4年
竹瀬 俊輔
(たけせ しゅんすけ)

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。現在、皆さんは大学生活への期待と不安が入りまじっているかと思いますが、勉強や部活・サークルなど、内容は人それぞれでしょう。私自身も最初は色々悩んでいましたが、その時に助けてくれたのは仲間でした。

大学では故郷を離れ、今までにない新たな環境で暮らしていく人も多い場所です。さらに、周囲の人々と接する機会が増えるため、人との繋がりは大変重要なものとなります。そこで出会った仲間は、大学生活においてかけがえのない存在になるかと思っています。私自身も、今となってはそのような仲間感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんの今後の大学生活がより良いものとなるためにも、今までの仲間も大切にしてください。これから出会う仲間も大切にしてください。充実した大学生活を送れるよう、心から願っています。



先端技術科学教育部
博士前期課程 1年
富永 康子
(とみなが やすこ)

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。大学生活はあつという間です。この貴重な4年間を大切に過ごしてください。大学生生活を楽しく送るコツは何か夢中になれることを見つけることです。夢中になれることがあると気持ちに余裕が生まれ、辛いときの心の支えや勉強の励みにもなります。

私の夢中になったことのひとつはサークルです。サークルでは普段の授業で出会わない人とも交流するので同期だけでなく、先輩、後輩との広い繋がりができます。その繋がりはきっとみなさんの大学生活に少なからず影響を与えます。そしてその影響力は自分の人生にも関わる大きな影響力となるかもしれません。最後にもう一つ、自分のやりたいことには妥協せず、一生懸命取り組んでください。目標のために苦労したことはきっといい経験になるはずですよ。これからたくさんの人に出会い、たくさんいい経験をしてください。

(私たちも応援します)

教養教育院

教養教育院所属教員一同

徳島大学ご入学おめでとうございます。

入学した皆さんは、大学での学びを「教養教育」から始めます。1年生の段階では、幅広い教養や知識を身につけることとなります。今年度からは、新しく発足した教養教育院が中心になって、皆さんの学びを担当することになります。「一刻も早く、役立つことを学びたい」という気持ちを持つこともあると思います。それではなぜ、教養教育から始めるのでしょうか。実は「今役立つことは、すぐに役立つことなくあるかもしれない」からです。昨今の技術の進歩は著しく、皆さんは当たり前のように使っている「スマートフォン」も、数年前では全く考えられませんでした。それでは数年前に、当時の携帯電話(所謂「ガラケー」)でメールを打つ方法を学んだとします。そうすると、その時役に立っていたことは現在ではほとんど役に立たないこととなります。

大学での学び方は、今まではかなり異なります。これからは、問題は与えられるかもしれませんが

が、答えが1つとは限りません。また、答えにたどり着くまでの方法も様々です。そうなったときに役立つのは「学ぶ力」です。そのため、今から学ぶ教養教育で先ず「学ぶ力」を作ります。

教養教育では、今まできちんと学ぶことが無かったことや、大学入学以前にすでに学んでいたことを、今までは違う新しい角度から見直すことができる、様々な講義が用意されています。初めて学ぶ語学もあります。これらの講義の中から、自分の興味があるものを選んでいくこととなります。教員一同、皆さんの学びを支える体制を作っています。

家が建ってしまったら、その土台は見えませんが、きちんとした土台がなかったら、家は建ちません。まずは各自で「立派な土台」を作り上げましょう。

教育支援課

学務部 教育支援課 教養教育係

山口 恵理子 (やまぐち えりこ)

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

新入生のみなさんが最初に学ぶ授業に、「教養教育科目」があり

ます。教養教育科目は、①「一般教養教育科目群」、②「グローバル化教育科目群」、③「イノベーション教育科目群」、④「基礎基盤教育科目群」、⑤「汎用的技能教育科目群」、⑥「地域科学教育科目群」、⑦「医療基盤教育科目群」、⑧「外国語教育科目群」の8つの科目群から構成されており、あらゆる専門分野の基礎となる授業です。これらの授業の中から、自分で学びたい授業を選び一人ひとりの時間割をつくります。たくさん授業題目の中から、時間割をつくるのは大変な作業ですが、教養教育履修の手引や教養教育授業概要(シラバス)をよく読み、慎重に履修登録してください。

高校までとは違って大学では、毎朝先生が教室に来て、1日の予定を教えてください。これはなく、すべて自己責任で確認する必要があります。休講情報や教室変更・教員からのお知らせ・試験に関する事務システムに掲載される教養教育掲示板に掲載されます。毎日少なくとも一度は、教養教育4号館1階の教養教育掲示板・電子掲示板を確認するようにしてください。また、教務事務システムから配信される情報を、携帯電話に転送することが可能です。各自で登



録することをお勧めします。教養教育では、多種多様な内容を学べるだけでなく、学部を越えて、学生や先生方と交流することができ、自分の視野を広げる絶好のチャンスです。興味や関心のことに積極的にチャレンジして、自分の可能性を引き出し、有意義な大学生活を過ごしてください。教養教育科目の履修に関して悩んだときは、教育支援課教養教育係(教養教育4号館1階)へ相談にきてください。新入生のみなさんの大学生活が充実したものになるよう応援しています。

（私たちも応援します）



附属図書館

学術情報部 図書情報課
利用支援係

林真理（はやしまり）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生として新しい生活がはじまり期待に胸をふくらませていることと思います。大学では「自ら考え、学ぶ」能動的な学習が求められます。それにレポートの課題もたくさん出ることでしょう。こんなことを聞くと不安になってしまいますよね。でも、安心してください！徳大図書館がみなさんの学習をサポートしますよ！

徳大図書館には専門書や小説、DVD、CDなどたくさんある資料がありますが、ここは「本を借りられる静かな場所」というだけではありません。皆さんの学習に役立ついろいろな施設、スペース、サービスを用意していますので、

キャリア支援室

学務部 学生支援課 キャリア支援係

原千晶（はらちあき）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

キャリア支援、就職活動と聞いても、講義に、サークルに、アルバイトにと、新しく始まるキャンパスライフに胸を躍らせている皆さんには、すぐにはピンとこない話かもしれませんね。ですがキャリア支援室では、就職活動に悩む皆さんの先輩だけでなく、1年生の皆さんの利用も歓迎しています。徳島大学では、1年生から「キャリアプラン入門」などの授業で自己分析・適性把握、業界・企業分析、社会人基礎力等に関する授業を行っており、3年生では「短期インターンシップ」の授業で実際に学生を就業の場へと送り出しています。

今年度就職活動に挑む皆さんの先輩は、採用情報の解禁が3月1日、選考解禁が前年度の8月1日から2ヶ月前倒しとなり、6月1日となりました。これにより今まで以上に入念な事前準備が求められています。

キャリア支援室では、就職に関する相談を随時受け付けているほ



か、エントリーシートの添削や個別面接練習、年間100回以上にわたる学内個別説明会の開催、就職ガイダンスの実施、求人票や企業情報の提供、就活関連本の貸し出し、OB・OG紹介、ツイッターでの情報提供など、このスペースには書ききれない様々な方法で、皆さんの就職活動などをお手伝いします。

数年後の皆さんが就きたい仕事に就けるよう支援していければと思いますので、キャリア支援室一同、皆さんのご利用を心からお待ちしています。

「絶対使わなソクソン！」の徳大図書館へぜひお越しください。

図書館ホームページ
<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/>
メールマガジン「すだち」（登録制）
<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/m-mag/>



保健管理・総合相談センター

保健師
早瀬純子（はやぶちじゅんこ）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。保健管理・総合相談センターは、保健管理部門と総合相談部門より構成されており、心身共に健康な学生生活を送れるよう支援しています。

保健管理部門には、内科医師、精神科医師および保健スタッフが

います。体調が悪くなった時には内科医師等による診察や応急処置を受けることができます。心の健康に関する相談や治療は予約制で、精神科医が対応しています。また、春の定期健康診断をはじめ、さまざまな健康診断を通じ、心身の健康管理・指導を行っています。測定機器（身長・体重・血圧・視力・骨密度・貧血等）や体力作りにも利用できる運動機器（ランニングマシン・エアロバイク等）も備えている他、健康増進のための健康教室も定期的に開催しています。

総合相談部門には、臨床心理士の資格を持つ専任教員がいます。修学上の悩み、進路に関する悩み、友人関係、部活動、バイト先での人間関係や精神面の問題、ハラスメント等、学生生活にまつわるさまざまな相談に応じています。また、悪質商法等の法律問題については、法律アドバイザーがおり相談に応じている他、適宜関係する専門機関の紹介も行っています。相談においては、インテーカーが簡単に相談内容を確認した上で専任教員等との面接の予約を取ります。また、学生同士の交流の場としてグループワーク（ほっとの会）や茶話会（ほっとカフェ）を定期的実施していますので、ぜひご参加ください。



情報センター（常三島キャンパス）

ビスを利用するためには、「徳島大学情報セキュリティポリシー」を順守して頂く必要があります。これは皆さん自身がトラブルから身を守るためのルールであり、本学の情報サービスを利用するうえでも必要な事項が記されています。皆さん向けにはそのエッセンスを10か条に抽出した「徳島大学情報セキュリティポリシー」学生向け10か条」を用意してありますので必ず一読してください。

情報センターでは、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の国際標準規格（ISO/IEC 27001）の認証を2012年に取得しています（国立大学法人としては4番目）。この国際標準に適合した情報セキュリティ活動により、本センターが提供する情報サービスの安全・安心を提供できるよう、スタッフ一同

なお、蔵本キャンパスには、保健室と蔵本総合相談部門が蔵本会館2階にあり、保健管理部門の保健スタッフ1名と総合相談部門の専任教員1名が常駐しています。体の不調、心の不調や悩みは、ひとりで抱え込まずに、気軽に保健管理・総合相談センターを利用してください。より良い学生生活を送れるよう応援しています。



利用案内
利用時間 月～金 8:30～17:15(共通)
常三島キャンパス: 教養教育5号館1階
蔵本キャンパス: 蔵本会館2階
●保健管理部門
Tel: 088-656-7289(常三島)
Tel: 088-633-7591(蔵本)
●総合相談部門
予約制となっていますので下記までご連絡下さい。
Tel: 088-656-7637(常三島・蔵本共通)
E-Mail: hsc.counseling@tokushima-u.ac.jp

日々活動しています。最後に、大学生活では様々な情報やサービスに触れる機会が増えますが、皆さんを脅かす脅威（例えば、ウイルスや悪意のあるアプリによる電話番号や連絡先の流出など）も増加します。正しい知識と対応により、快適な学生生活となることを期待しております。また、困ったことがありましたら、本センターのサポート窓口もご利用ください。

利用案内
●情報センター（常三島キャンパス）
月～金 8:30～17:15
Tel: 088-655-7557
●蔵本分室（蔵本キャンパス図書館1階）
月～金 8:30～17:15
Tel: 088-633-7708
情報センターホームページ
<http://www.ait.tokushima-u.ac.jp/>
E-mail: callcenter.ait@tokushima-u.ac.jp

国際センター

国際センター准教授
坂田 浩 (さかたひろし)

徳島大学へのご入学おめでとうございます。私たち国際センターは、徳島大学における国際交流の拠点として、そして、留学生・日本人学生・教職員・地域を結ぶ「架け橋」として、様々な活動を展開しています。国際センターは、サマースクール「徳島で会おう」、「国際展開推進シンポジウム」などの様々な国際交流事業を支援する「国際交流部門」、留学生に対する日本語教育や日本語教師を目指す日本人学生の養成支援を行う「教育部門」、JICAなどの外部機関と共に発展途上国での開発協力を行う「国際協力部門」という3部門で構成されており、お互いに協力しながら大学全体の国際化を推進する活動を展開しています。新入生の皆さんに直接関連するものとしては、まず「短期海外研修」を挙げることができるといえます。本センターは、アメリカ、中国、韓国、インドネシア、ニュージーランド、オーストラリアへの短期海外研修を企画・運営しており、参加を希望する学生への指導・相談、事前指導を行っています。



その他にも、留学生の日本語学習を支援する「学生サポーター制度」の企画・運営、日本人学生・留学生が共に学ぶ共創型学習科目「国際交流の扉を拓く」(教養教育)の提供、オリジナルな海外留学を実現する「トビタテ!留学JAPAN」応募者への支援、本学の留学生と交流する「多文化交流会」の実施、海外の大学生を日本に招聘する「JENESYSプログラム」への参加などを積極的に進めており、みなさんが異文化に触れあう機会を数多く提供しています。

「海外に留学したいんだけど、何から始めたらいいのか」、「留学生と交流したいんだけど、どこ

に行ったらいいのかなからない」という方は、是非一度国際センターに連絡してみてください。留学に関する各種相談も受け付けていますので、気軽に相談してください。

国際センターに連絡したい時は、国際交流係に連絡してください。
国際課 国際交流係
E-mail: ryugakuk@tokushima-u.ac.jp
●常三島地区: 地域創生・国際交流会館 4F
●蔵本地区: 蔵本会館 2F



徳島大学 生活協同組合

徳島大学生活協同組合専務理事
高橋 敬司 (たかはしけいじ)

徳島大学へのご入学おめでとうございます。徳島大学生活協同組合員職一同、心よりお慶び申し上げます。

徳島大学生協は、徳島大学の学生・教職員が加入し構成する学内の福利厚生団体です。「徳島大学



食生活相談



常三島地区 Diningキララ 2016年1月 リニューアルオープン



自転車無料点検



蔵本地区 LUCK-LA (らくら)コンビニ

の福利厚生の実と魅力ある大学づくり貢献すること」を目的とし、食堂・購買・書籍(教科書)・住まい紹介や管理・旅行サービスなど、学生生活に必要なものを提供しています。

学生の皆さまには、大学生活を健康安全に過ごしてほしいと願っています。そのためには、「食べること」と、もしものときの「共済・保険に加入しておくこと」が必要かと思えます。ほとんどの学生が、大学の講義、サークル、アルバイトと忙しく、食生活が乱れがちです。生協では食堂各店にて豊富なメニューを取り揃え、一日3食しっかり食べていただけるようお待ちしております。北海道や九州などご当地メニューフェアも定期的に実施しています。ぜひ生協食堂をご利用いただき、規則正しい食生活を送ってほしいと思います。

また生協では、「学生どうしのたすけあい」を目的とした「学生総合共済」や、他人に迷惑をかける損害賠償を請求された場合に保障する「学生賠償責任保険」を取り扱っています。思いがけない事故や病気、災害に備え、学生どうしで力を合わせて安心・安全な学生生活をおくろうという趣旨の制度です。徳島大学では約90%の学生が加入しています。保障だけでなく、自転車やバイクの無料点検や、栄養士による食生活相談を学内で実施し、事故や病気を予防する活動を学生たちが積極的に取り組んでいます。

私たち生協は、学生の皆さんが安心して充実した学生生活を送り、勉学に励むことができるようお手伝いしていきたいと思えます。

『学生生活で困ったときは生協へ』ご相談ください。



特別修学支援室

教授
住谷 さつき (すみたに さつき)

徳島大学に入学された皆さん、ご入学おめでとうございます。私は平成27年度に徳島大学に新しく設置された特別修学支援室を担当する住谷さつきと申します。特別修学支援室というのは聞き慣れない言葉と思いますが、これは徳島大学に在学する障がいをもつ学生の修学上のサポートをさせていただく部署です。具体的には視覚・聴覚障害、肢体不自由、内部障害(心臓病・腎臓病などの慢性疾患)、発達障害、精神障害など、身体や心に何らかの不便をもつ学生やその学生を指導する教員の相談窓口となり、それぞれの学生にどのようなサポートが必要かを個別に考え、必要に応じて他の部署との連携を行い、ハード面ソフト面での資料の提供を行う部署です。わが国ではこの4月から「障害を理由とす

る差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」が施行されることになりましたが、それに伴って全ての国立大学には障がいをもつ学生がスムーズに修学することをサポートする部署が作られることになりました。徳島大学に設置された特別修学支援室はそのひとつです。

障がいをもつ学生へのサポートというと、皆さんはどのようなイメージをお持ちでしょうか。視覚・聴覚障害、肢体不自由、内部障害など、身体に障がいをもつ学生は大学に入学する以前に医療機関で診断や治療を受け、中学校や高等学校でも様々な修学上の支援を受けてきた場合が多く、比較的支援する側とのニーズの共有がしやすいように思います。これに対し発達障害や精神障害のような心の障がいをもつ学生は、医療と関わることなく成長し、診断や治療を受けることなく大学に入学することも多いため、どのような支援が必要なのか周囲から理解されにくく、場合によっては本人すらその障がいに気づかずに大変な苦勞をしていることもあるのではないかと思います。私は精神科医として医療に従事するとともに、医学部の教員として学生の教育に関わってきましたが、心の障がい

悩む学生はかなりの割合で存在するにも関わらず適切な支援が受けられていないことを実感してきました。これからは身体障害のみならず発達障害や精神障害に対する理解や支援を充実させることが重要になってくると思えます。障がいの種類に関わらず、また診断や治療を受けていないに関わらず、他の学生と異なる特性のため徳島大学での修学に何らかの不便や困難を抱えている学生に対して、特別修学支援室が可能な限りの対応をさせていただきたいと思えます。

さて、特別修学支援室のもう一つの役割は、障がいをもつ学生を支援する学生を育てることです。例えば聴覚に障がいのある学生のため、サポーターの学生が講義中に教員の話す内容を交替で筆記、パソコンに打ち込むなどの作業をしている大学があります。障がい



利用案内
月~金 8:30~17:15
常三島キャンパス 教養教育4号館1階
Tel: 088-656-9957
E-Mail: syuugakusien@tokushima-u.ac.jp

などを受けた後に認定試験を受けて合格することによって認められる資格です。障がい者支援を誰もが当たり前に行う社会の実現のためには、こうした専門の教育やトレーニングを受けた人材を社会に送り出すことも大学教育の大切な役割となります。徳島大学特別修学支援室でもこうした取り組みを積極的に行っていく予定です。

障がいのために修学上の困難を感じている学生も、そうした学生を支援しようと思う学生も特別修学支援室を気軽に訪れていただけたらと思います。障がいの有無にかかわらず、徳島大学に入学した全ての学生が自分の好きなことを自由に学び研究し、それぞれの夢をかなえる将来につなげるとともに、障がいに対する知識と支援を学んで卒業(修了)し、社会全体を豊かにしていくことを望みます。

新蔵地区 キャンパスマップ

Shinkura Campus Map

常三島キャンパスまで徒歩15分



日亜会館

1階: ガレリア新蔵
徳島大学の地域連携・社会交流活動拠点として、①各種イベントの開催、②教育研究活動の展示紹介などに活用されます。「ガレリア新蔵」エリアにはLEDディスプレイや可動式展示スクリーンを設置し、展示室では、様々なテーマの特別展示を行っています。

3階: 放送大学徳島学習センター

4階: 留学生宿舍



地域創生・国際交流会館

地域社会の国際化や地域課題の解決を支援する場及び学生、教職員の国際化を強力に推進するための拠点となる施設です。

銀行ATM

阿波銀行・徳島銀行
徳島信用金庫 共通
ゆうちょ銀行ATM

生協ショップ [1階]

営業時間 8:15~20:00
[土・日・祝休業]
売店、書籍、旅行サービス等扱っています。



Dining キラ

営業時間
8:00~20:00
[土・日・祝休業]



保健管理・総合相談センター [1階]

総合相談部門
困り事、悩み事などの相談はここへ
保健管理部門
病気、けがの場合はここへ。
メンタルヘルス相談もしています。

キャリア支援室 [1階]

キャリア就職に関する相談はここへ

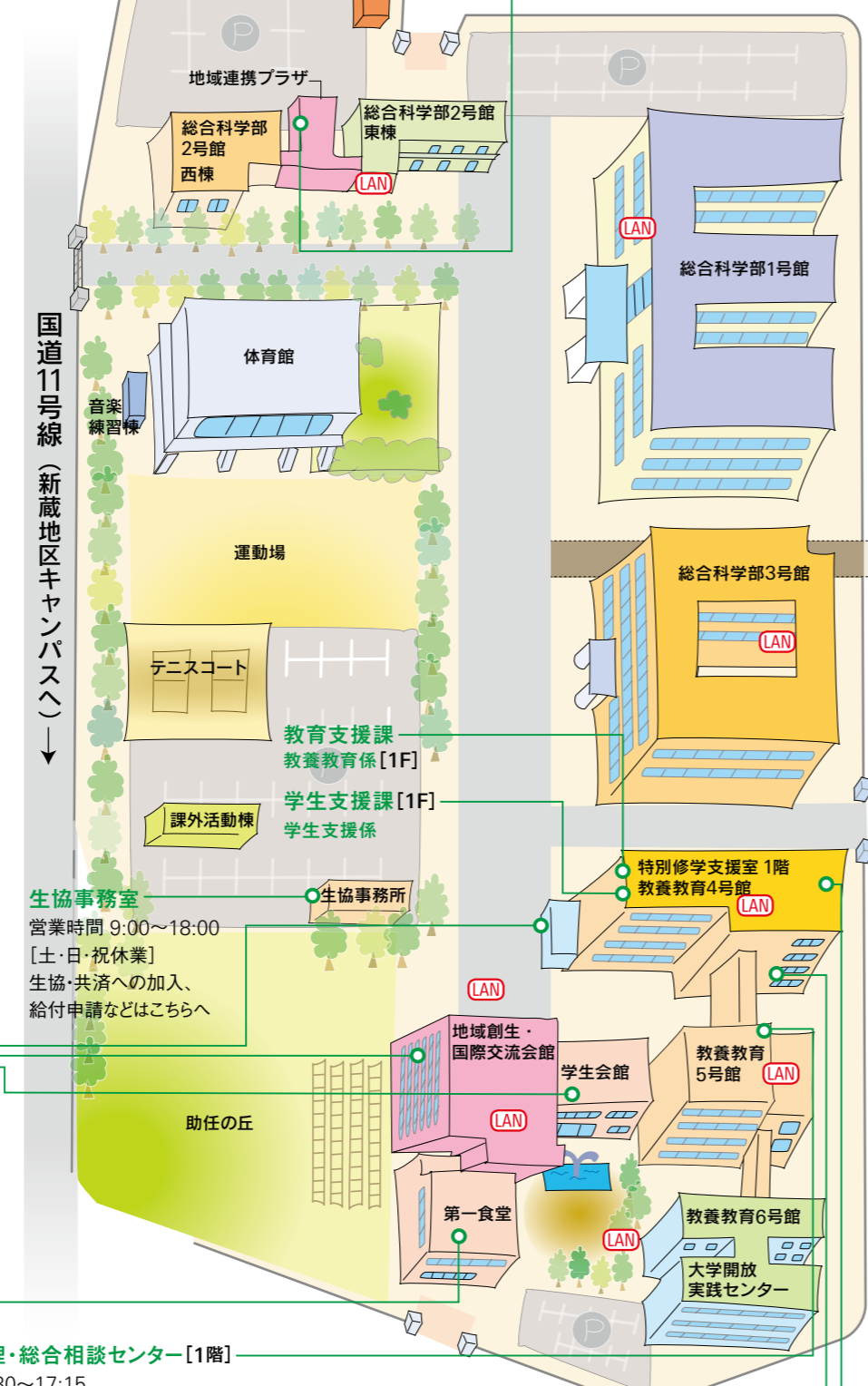
特別修学支援室 [1階]

[平日] 8:30~17:15
障がいを持つ学生の修学支援はここへ

自習スペース

スタジオ
総合科学部3号館東1~3階
(授業・講演等に使用する場合があります)のみのみ
設備: 机、椅子、自動販売機 (1階のみ)
教養教育院学習支援室
総合科学部3号館東1階
スタジオ一角机、椅子、辞書、参考書籍、ホワイトボード等。教員の待機時間には、学習の相談にのってくれます。
教養教育院学生自習スペース
教養教育5号館2階 / 設備: 机、椅子、自動販売機

地域連携大ホール (常三島けやきホール) [2階]



国道11号線 (新蔵地区キャンパスへ)

総合科学部 理工学部 生物資源産業学部

常三島地区 キャンパスマップ

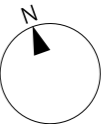
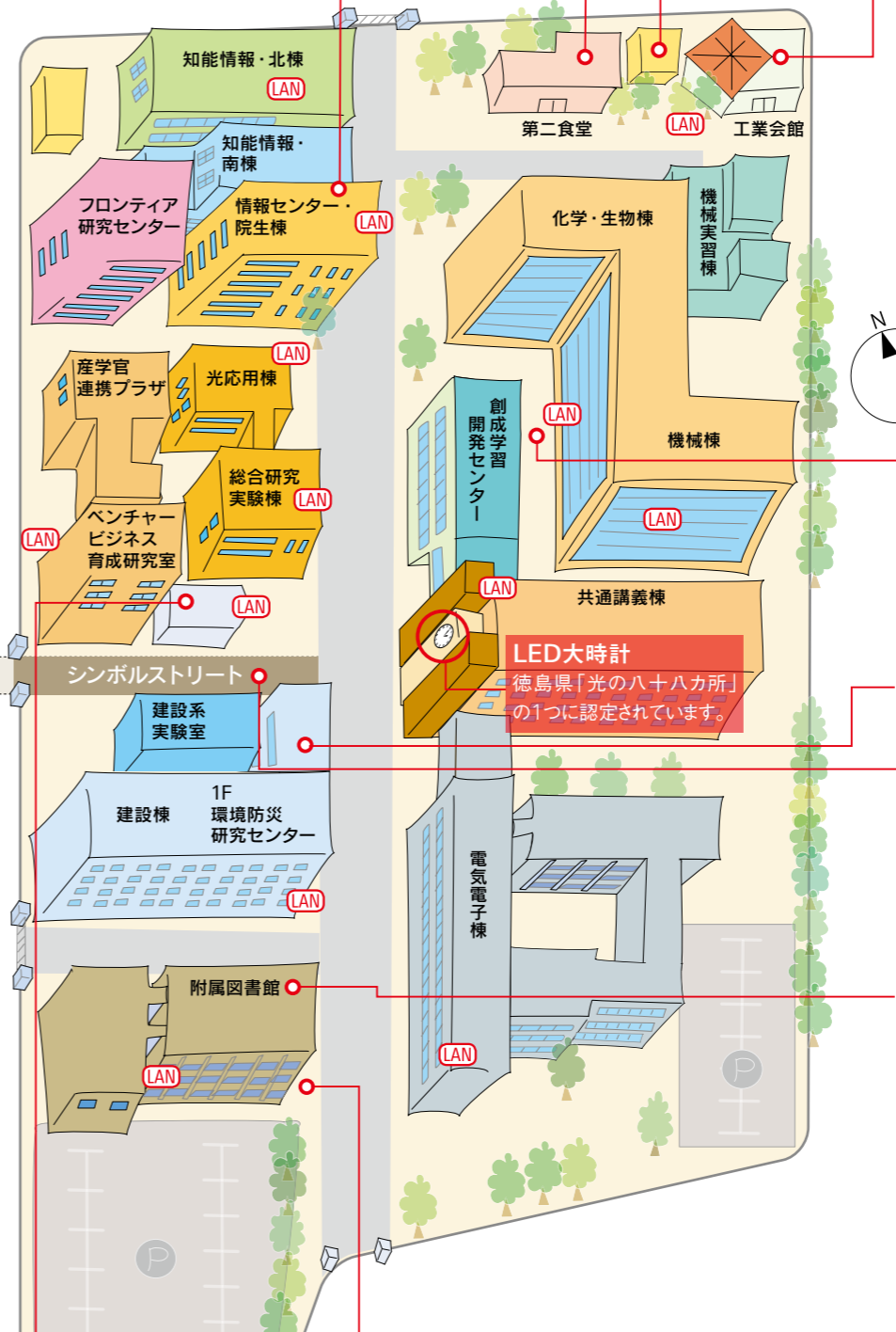
Josanjima Campus Map

情報センター
2階のパソコンは
22:00まで使用可能
3階のパソコンは
18:00まで使用可能

creA (クレア)
営業時間
[平日]
11:30~13:30
[土・日・祝休業]

カフェテリア
食事、自習等自由に
使用できます。

**生協ミニショップ
Emi*re (えみり) [1階]**
営業時間
[平日]
10:00~20:00
[土・日・祝休業]



中庭
[キャンパスモール]

LED大時計
徳島県「光の八十八カ所」
の1つに認定されています。

**大学院先端科学教育部
国際連携教育開発センター [3階]**

シンボルストリート

附属図書館
開館時間
[平日]
8:30~22:00
[土・日・祝]
10:00~17:00
学習・パソコン利用



**図書館横
休憩所**

**生協CAFE
San-Jyo (さんじょ)**
営業時間 [平日] 10:00~17:00
[土・日・祝休業]



蔵本地区 キャンパスマップ

Kuramoto Campus Map



長井庭園



薬学部スタジオプラザ[1階]

[1階]

キッチン SAKU-LA (さくら)
営業時間 [平日] 8:00~20:00
[土・日・祝休業]



キッチン SAKU-LA

コンビニ LUCK-LA (らくら)
営業時間 [平日] 9:00~19:00
[土・日・祝休業]



コンビニ LUCK-LA

書籍・文具・PC SHOKO-LA (しょくら)
営業時間 [平日] 9:00~19:00
[土・日・祝休業]



書籍・文具・PC SHOKO-LA

[2階]

アルバイト情報コーナー、
ソフトボール用品等の無料貸出
体育館、和室の予約もこちらで。

キャリア支援室蔵本分室
[平日] 13:00~21:00

国際課蔵本分室
[平日] 8:30~17:15

保健管理・総合相談センター
[平日] 8:30~17:15

保健管理部門(蔵本保健室)
病気、けがの場合はここへ

総合相談部門
困り事、悩み事などの相談はここへ

自習スペース

医学部

- [医学科] (学年指定)**
- 学生自習室(2室) / 臨床講義棟1階
 - チュートリアル室(13室) / 医学基礎B棟3・4階
 - 学生自習室(3室) / 医学部基礎B棟3階
 - 学生自習室 / 医学臨床B棟1階
 - クリクラ控室 / 医学臨床A棟2階

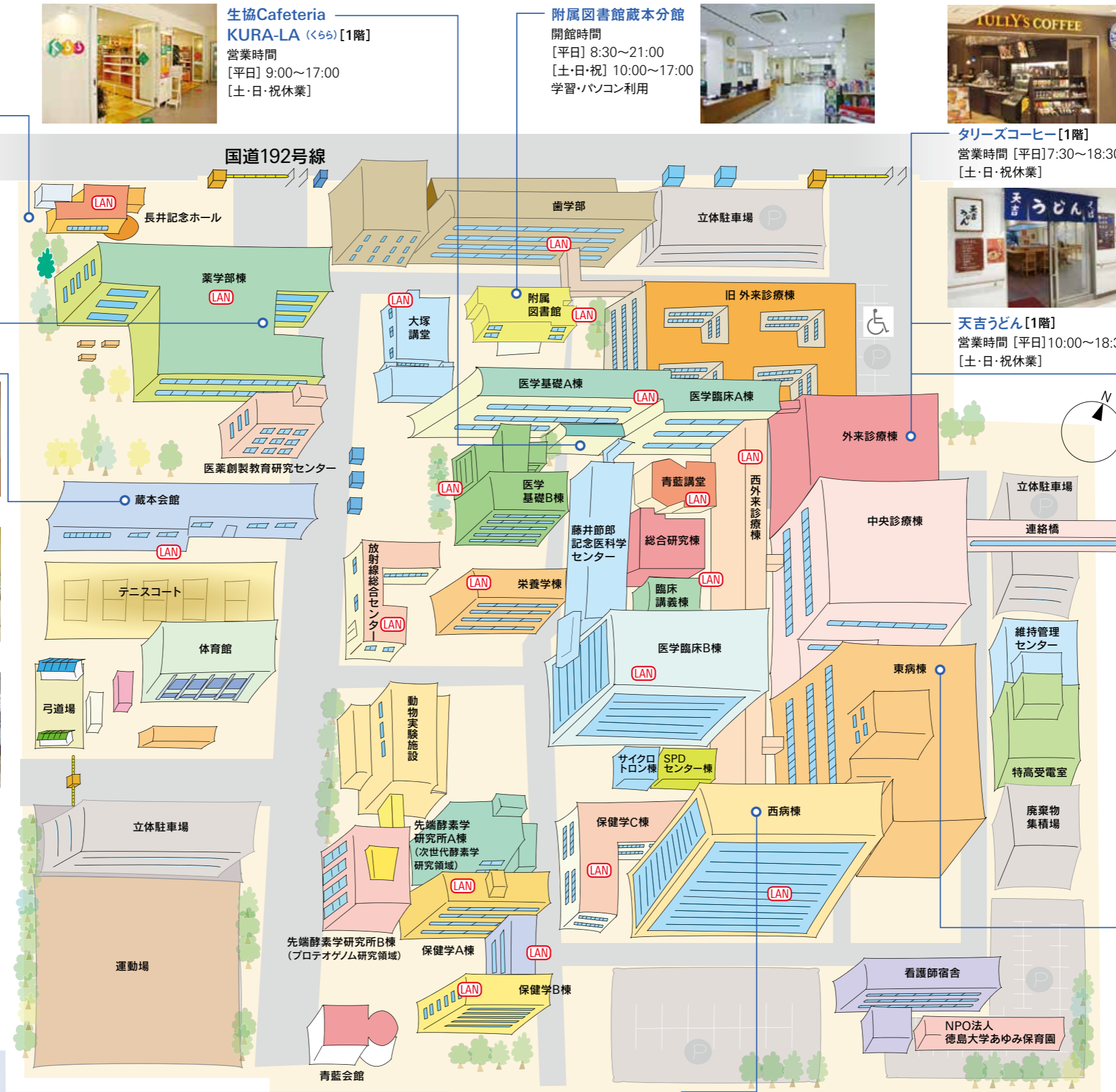
- [医科栄養学科]**
- 学生支援室 / 栄養学棟2階 202
- [保健学科]**
- 看護学専攻学生自習室 / 保健学A棟1階 5階
 - 放射線技術科学専攻学生自習室 / 保健学A棟3階
 - 検査技術科学専攻学生自習室 / 保健学A棟5階
 - 学生自習室 / 保健学C棟1・2階 / 保健学A棟1階

歯学部

- 学生控室 / 歯学部2階
- ソファ、掲示板、自動販売機(飲料)、コピー機、ロッカー
- 学生自習室 / 歯学部4階

薬学部

- スタジオプラザ / 薬学部1階



徳島大学

4月・5月

- 入学式 (4月6日)



- 五月祭 (5月)

五月祭は、主として新生を対象に学生相互の親睦をはかることを目的とし、毎年5月に開催しています。ステージ、模擬店、貴歩企画などで交流の輪を広げます。



6月・7月

- 四国地区
大学総合体育大会

学生の健全なる体育の発展と学生相互の親睦をはかることを目的とし、四国地区の国・公・私立(短大を含む)大学の学生が参加します。



8月・9月

- 科学体験フェスティバル in徳島 (8月6日・7日、理工学部)
- 徳島大学
オープンキャンパス (8月上旬~中旬、常三島・蔵本キャンパス)



10月・11月

- 開学記念日 (11月2日)

- 大学祭 (10月29日・30日)

大学祭はこれまで63回行われ、本学の課外活動としては最も歴史的かつ最大のイベントです。各学部・各サークルの趣向をこらした催し物、学部研究室の一般開放、市民と学生のつどいなど地域社会との交流もいろいろ企画され、全学あげての多彩な祭典が繰り広げられます。



12月・2017年
1月

- 中・四国国立大学連合演奏会・
連合美術展覧会

学生の健全なる文化の発展と学生相互の親睦をはかることを目的として、中・四国の国立大学法人9大学の学生が参加して行われます。

2月・3月

- 卒業式 (3月23日)



徳島

- とくしまマラソン2016 (4月24日)

四国最大規模のマラソン大会です。2016年は15,000名のランナーがゴールを目指します。



- 第29回美郷ほたるまつり (5月下旬~6月中旬)

吉野川市美郷地区は地区全域が「美郷のホテル及びその発生地」として国の天然記念物に指定されており、ホテルが飛ぶ流域面積、数、期間とも全国でも有数の地域です。



- 第34回ベートーベン「第九」交響曲演奏会 (6月5日、鳴門市文化会館)

1918年6月1日、鳴門市大麻町板東にあったドイツ兵俘虜収容所の俘虜たちが、アジアで初めてベートーヴェンの「第九」交響曲を演奏したのになんで、毎年6月に市民が参加できる「第九」演奏会を開いています。



- ひわさうみがめトリアスロン (7月19日、美波町)

- 阿波踊り (8月中旬、県内各地)

400年の歴史を持つ徳島の夏祭りです。徳島大学からも多くの連(踊りのグループ)が参加します。



- 阿波の狸まつり (11月上旬、徳島市藍場浜公園)

ステージではショーやコンサートが行われます。各市町村の特産品も販売されます。



- 妖怪まつり (11月下旬、三好市山城町)

妖怪のこなきじいの故郷である三好市山城町上名藤川谷周辺で開催されます。



- 徳島駅伝 (1月上旬、県内各地)

昭和30年から続く伝統ある大会です。中学生から実業団選手まで、世代を超えて出場します。

- 第29回ビッグひな祭り (2月下旬~4月上旬、勝浦町人形文化交流館(仮設展示場))

会場には、高さ約8mのひな壇に約3万体のひな人形を飾り付けます。



同窓会から 寄せられた メッセージ

青藍会 医学部医学科同窓会
新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。
医学部医学科の同窓会は青藍会と称し、会員相互の親睦を図るとともに、母校の発展に尽くすことを目的としています。
本学部のルーツは1943年に開学した徳島県立医学専門学校にあり、今年で73周年を迎えます。現在の会員総数は、5873名です。全国に13の支部を擁し、約5300名の方が北は北海道から南は沖縄県までの全国各地で、また、20名余りの方が海外で活躍しています。医学部医学科新入生の皆様は、本会の準会員として登録されています。

事務局連絡先 〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15
徳島大学医学部医学科青藍会 Tel: 088-633-3180
E-mail: seiran@tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.seirankai-tokushima.jp/

陸眉会 医学部保健学科同窓会
新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。
陸眉会は、徳島大学医学部保健学科、および同大学院保健科学教育部、並びに前身校をすべて含めた同窓会で、卒業生、在校生、教職員で組織されています。平成8年に発足し、会員名簿や会報の発行、総会や講演会の開催などを行い、会員相互の親睦と母校の発展のために活動しています。
現在の会員数は、6477名です。新入生の皆様は、本会の準会員として登録されています。また、入学時に同窓会名簿を進呈し、就職や進学に役立てていただこうと支援しています。

事務局連絡先 〒770-8509 徳島市蔵本町3-18-15
徳島大学医学部保健学科同窓会 陸眉会事務局
Tel / Fax: 088-633-9067 E-mail: mutsumi.jim@gmail.com
URL: http://mutsumi.web5.jp

薬友会 薬学部同窓会
新入生の皆様、徳島大学にご入学おめでとうございます。
薬友会は徳島大学薬学部の卒業生・大学院修了生のための同窓会組織で、関東、近畿、岡山、広島、香川、愛媛、高知、そして徳島に支部を有し、会員数は卒業生・大学院修了生合わせて4201名です。新入生の皆様は入学と同時に準会員として登録されています。薬友会は在学に対しては卒業生からの就職情報提供を、また卒業生に対しては同窓会誌や会員名簿の発行および同窓会の開催支援を通じて、徳島大学薬学部同窓生の世代を超えた結びつきを応援しています。

事務局連絡先 〒770-8505 徳島市庄町1-78-1 徳島大学薬学部内薬友会事務局
Tel: 088-633-7292, 088-633-7250 Fax: 088-633-9517
E-mail: reunion-ph@tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.tokushima-u.ac.jp/ph/campus_life/alum/reunion/

渭水会 総合科学部同窓会

総合科学部及びその大学院へのご入学おめでとうございます。大学改革により学部の姿が大きく変化しようとも、渭水会の新しい会員として心より歓迎いたします。渭水会の終身会員数は現在約11500名です。活動としては、母校の振興に関する事業として、創立記念モニュメントを寄贈したり、優秀な卒業生に渭水会会長賞を授与したり、会員の活躍や学部の現況、同窓会の活動等を紹介した会報の発行、会員相互の親睦会への助成事業を行っています。渭水会ではホームページも開設しています。学部の歴史や渭水会の活動状況を是非一度ご覧下さい。

事務局連絡先 〒770-8502 徳島市南常三島町1-1
徳島大学総合科学部内 徳島大学渭水会事務局
Tel: 088-656-7293 / Fax: 088-657-7467
E-mail: info@isuikai.jp URL: http://www.isuikai.jp

栄友会 医学部医学科栄養学科同窓会

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。皆様の大学生活が実りあるものとなりますことを心より願っています。栄友会は、医学部医学科栄養学科(旧栄養学科)の卒業生・在学生・教職員などで組織された同窓会です(現会員数2789名)。1964年に全国で唯一の医学部に設置された栄養学科は、平成26年4月に改組し医学科栄養学科となりました。医学科栄養学科の第3期生(栄友会53期生)となる皆様は、これからの日本の栄養学を担っていく人材として期待されています。栄友会は様々な活動を通じて、会員の皆様に支援しています。

事務局連絡先 〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15
徳島大学医学部医学科栄養学科内栄友会事務局
e-mail: dosokai@tokushima-u.ac.jp
URL: http://eiyo.jimdo.com/

蔵歯会 歯学部同窓会

歯学系ならびに口腔保健学科へのご入学おめでとうございます。歯学部同窓会(蔵歯会)は平成2年に設立され、関東、静岡、東海、北陸、京都、滋賀、大阪、兵庫、岡山、広島、香川、愛媛、高知、徳島、大学に支部組織があり、それぞれの地域でも活発に活動しています。会員数は、歯学科33期1806名と口腔保健学科5期74名の計1880名です。卒業前には、進学就職ガイダンスと支部説明会を開催し卒業後の進路相談をしています。また、卒業時に記念品を贈呈、卒業後も定期的に名簿や会報の提供をしています。在学時から皆様の支援を惜しみませんので気軽にご利用ください。

事務局連絡先 〒770-8504 徳島市蔵本町3-18-15
徳島大学歯学部同窓会(蔵歯会)
Tel: 080-6392-7362 / Fax: 020-4622-5181
E-mail: honbu@dentclin.tokushima-u.ac.jp URL: http://www.tokudai-d.net

工業会 工学部・理工学部・ 生物資源産業界学部同窓会

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。充実した大学生活を送られることを願っております。工業会は徳島大学理工学部・生物資源産業界学部ならびにその前身の卒業生・修了生と教職員を会員とする同窓会組織です。設立は1933年で、現在の会員数は約3万人です。新入生の皆様は卒業するまでは準会員として登録されています。
工業会には、全国に16もの支部があり、会員相互の世代を超えた交流を積極的に支援しています。このネットワークは皆様が将来就職活動をする際のみならず就職後も頼もしい味方となります。

事務局連絡先 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1
徳島大学理工学部内 Tel / Fax: 088-656-5432
E-mail: office@kgk.tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.tokushima-u.ac.jp/kgk/